

ワシントン駐在 活動記録

平成31年(2019年) 1月19日(土)～2月1日(金)

(1) シンポジウムの傍聴(22日)

カーネギー国際平和財団が主催するシンポジウムに参加しました。「2019年の日本～この先1年の見通し～」と題して、新たな天皇陛下の即位、大阪でのG20首脳会議の開催、参議院選挙、防衛大綱の実施、外国人労働者に関する新たな法律、トランプ政権との自由貿易協定の交渉の開始等を踏まえ、日米の学識者、有識者が、2019年、日本を待ち受ける課題やチャンス、画期的な出来事について、考えを述べ、議論が交わされました。

2019年の日本の国内政治及び経済見通しに関するセッションにおいて、普天間飛行場の移設計画をめぐる沖縄に関する議論も行われました。

(2) シンポジウムの傍聴(30日)

ウィルソンセンターが主催するシンポジウムに参加しました。「朝鮮半島新時代の地政学的影響」と題して、対北朝鮮外交の成功又は失敗による広範に渡る地政学的影響(同盟関係への影響や当該地域での米国の力の今後など)について議論が交わされました。

会場との質疑応答では、同盟関係の重要性と地元との対話の重要性について、当方ワシントン駐在からも質問しました。



ナッパー 国務次官補代理代行